

(2) 多様な正社員として働く

①多様な正社員という働き方を選んだ理由

多様な正社員として働く場合、大きく2つの入口があります。1つは「A. 多様な正社員として新卒入社／中途入社する」入口、もう1つは「B. 他の働き方（いわゆる正社員や非正社員等）で新卒入社／中途入社し、多様な正社員に転換する」入口です。8名の入口には、これらすべてが含まれています。言い換えれば、**企業によって多様な正社員になる入口は異なるものの、その入口は様々に用意されている**ことを意味します。

8名の先輩がその入口をくぐった理由をみると、**とりわけ勤務地限定正社員には、「育児・私傷病等により、転居を伴う転勤が難しいものの、安定した雇用・収入やキャリアアップが実現可能な働き方を望んだ」傾向がみられます**。非正社員の場合はシフトに入ることができる時間が限られているため、月当たりの収入に変動が生じるケースもありますが、多様な正社員であればそれが改善する可能性もあります。

図表4 多様な正社員という働き方を選んだ入口・理由
(入口：A=多様な正社員として入社、B=入社後、多様な正社員に転換)

事例No.	入口	理由
事例No.1 (勤務地限定) グロービート・ジャパン株式会社 山ノ下さん	A	・「月当たりの収入に変動がない、フルタイムの正社員として働くこと」「育児中のため、自宅の近くで働くこと」を重視して職探し。 ・それらが可能となる、勤務地限定正社員である「エリア社員」の働き方を持つ同社へ入社。
事例No.2 (勤務地限定) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 紀さん	B	・事務の仕事を担当し、転居を伴う勤務地異動がない業務職（勤務地限定かつ職務限定正社員）として入社。 ・人事制度変更に伴い、勤務地限定正社員である「職員（総合系エリア）」に自動的に移行。
事例No.3 (勤務地限定) 株式会社タカキュー 園原さん	B	・自宅を購入した時期等に、人事制度変更に伴い、勤務地限定正社員である「エリア正社員」の働き方が導入されたため、いわゆる正社員である「正社員」から自ら転換を希望。
事例No.4 (勤務地限定) 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 高柳さん	B	・キャリアアップに際しての明確な基準を持つ同社へ非正社員である「パート社員（パートタイム勤務）」として入社。店舗の経営改善に携わりたいと考えるようになるが、育児を理由に正社員への転換を諦めていた。 ・人事制度変更に伴い、勤務地限定正社員である「店舗限定社員」の働き方が導入されたため、自ら転換を希望。
事例No.5 (勤務地限定) マックスバリュ中部株式会社 喜田さん	B	・同社にいわゆる正社員である「R社員」として勤務する夫の転勤、第三子の出産を機に、R社員から勤務地限定正社員である「L社員」に自ら転換を希望。
事例No.6 (勤務地限定) 株式会社ミキハウス 瀧瀬さん	B	・「子どもに関わる仕事に従事したい」「将来的には正社員として活躍したい」と考え、同社へ非正社員である「アルバイト（フルタイム勤務）」として入社。 ・人事制度変更に伴い、「キャリアスタッフ」への転換制度が導入されたため、自ら転換を希望。当時は勤務地限定へのこだわりはなかったが、現在は育児中であるため、結果として「キャリアスタッフ」への転換となり好都合。

事例No.	入口	理由
事例No.7 (職務限定・勤務地限定) 株式会社ダスキン 森さん	B	<ul style="list-style-type: none"> ・同社での派遣社員を経て、フルタイムの非正社員(限定社員)として入社。 ・いわゆる正社員である「総合職」への転換を考えるが、配置転換があるため躊躇。 ・人事制度変更に伴い、職務限定かつ勤務地限定正社員である「エリア専任職」の働き方が導入されたため自ら転換を希望。
事例No.8 (勤務時間限定) イケア・ジャパン株式会社 蓮池さん	B	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員での転職を希望していたものの、同社のビジョンに共感したため、正社員転換を目指すことを決意の上、「非正社員 (パートタイム勤務)」として入社。 ・人事制度変更に伴い、非正社員から勤務時間限定正社員である「短時間正社員」に自動的に転換。

②多様な正社員という働き方により実現できたこと／困っていること

これまで、多様な正社員は「安定した雇用の中で、ワーク・ライフ・バランスを実現できる」働き方、「自身の能力を発揮し、キャリアアップすることができる」働き方であり、実際に8名の先輩がそれらを期待して多様な正社員という働き方を選んでいることをみてきましたが、それらは本当に実現しているのでしょうか。他方、何か困っていることはあるのでしょうか。事例から確認します。

まず、実現できたこととして、「育児と両立しながら働き続けることができる」「チーフや店長等にキャリアアップし、正社員と同じ仕事や責任のある仕事を担当することができる」「毎月決まった収入を得ることができる」「家族の地域コミュニティが維持できる」と考える傾向がみられます。すなわち、8名全員が、多様な正社員という働き方に期待していたことをそのまま実現できていることがわかります。

次に、困っていることをみると、「特に困っていることはない」と考える先輩が8名中6名となっています。ここからは、多様な正社員が担当する仕事が、いわゆる正社員と同じ内容・責任の範囲であることが大きく影響していることが推察されます。

図表6 多様な正社員という働き方により a. 実現できたこと/b. 困っていること

事例No.	概要
事例No.1 (勤務地限定) グロービート・ジャパン株式会社 山ノ下さん	a ・フルタイムで固定の時間帯に働くことで、毎月決まった収入を得ることができる。 ・体力に自信がなく、育児と両立しながら働かなければならない状況のなか、働き慣れた店舗で仕事を続けることができる。
	b ・店舗での仕事は、いわゆる正社員と同じ内容・責任の範囲であり、特に困ったことはない。
事例No.2 (勤務地限定) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 紀さん	a ・営業担当にとって転居を伴う勤務地の異動がないことは、地の利がある点、継続的に営業活動ができる点でメリットとなる。
	b ・入社当初は事務の仕事のみを担当していたため、初めから営業職として入社した者と比較して経験値の差を感じることもある。(※補足：教育訓練の受講等によりその差を解消)
事例No.3 (勤務地限定) 株式会社タカキュー 園原さん	a ・いわゆる正社員の時には家族も含めて「いつ転居しなければならないのか」「転居先での生活になじめるのか」などの不安があったが、現在はそれらは解消され、家族も地域コミュニティを維持できている。
	b ・特に困ったことはない。
事例No.4 (勤務地限定) 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 高柳さん	a ・月間の休日日数や勤務日数が定められているため、日々の計画が立てやすくなった。 ・店舗管理業務を担当できるようになった。
	b ・特に困ったことはない。
事例No.5 (勤務地限定) マックスバリュ中部株式会社 喜田さん	a ・育児と両立しながら働くことができる。
	b ・昇進・昇格の上限が設定されているため、役職を上げることができない。
事例No.6 (勤務地限定) 株式会社ミキハウス 額額さん	a ・ブランドチーフという責任ある役割を担うことができた。結婚・出産を経ても、正社員と同じ仕事を担当し、同じキャリアを積むことができる。
	b ・店舗での仕事は、いわゆる正社員と同じ内容・責任の範囲であり、特に困ったことはない。
事例No.7 (職務限定・勤務地限定) 株式会社ダスキン 森さん	a ・それまでいわゆる正社員が担当していた仕事を引き継ぐことができた。 ・仕事に関連する社内制度や法律は年々変わるが、その積み重ねにより知識を深められる。
	b ・順調にキャリアアップしており、特に困ったことはない。
事例No.8 (勤務時間限定) イケア・ジャパン株式会社 蓮池さん	a ・非正社員時よりも週当たりの勤務時間が10時間程度長くなったことで、担当する業務量が多くなるとともに責任の幅が広がり、さらにやりがいを感じるようになった。
	b ・特に困ったことはない。